新年を迎えて

社会福祉法人川越町社会福祉協議会
会長　河村　京子

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は3月の東日本大震災、また台風12号による三重県南部の被災など、自然の恐ろしさを実感した一年でありました。今なお大変な思いをしておられる沢山の人々の事を思うと胸が痛みます。特に、家や田畑があっても帰れない福島の人々の辛さは計り知れません。私達はあらゆる面で長い支援をしていかなければならないと思います。

さて、今社協は、地区社協における小地域福祉活動計画の策定と生活・介護支援サポーター養成事業とで、地域福祉の推進に取り組んでいます。すでに川越町では、26人の民生委員さんが、各地区において活発に活動され、昨年は優良民生委員児童委員として全国表彰されました。平成21年度に始まったサポーター養成講座を受講されたサポーターの皆様と一体となり、地域福祉の原動力となって頂ける事と信じております。また、昨年は特にボランティアの存在がクローズアップされました。ただ、どの団体もそうですが、高齢化と、まだまだ男性ボランティアが不足しています。川越町の団塊世代の皆様、ボランティアの一歩を踏み出してみませんか。また、違う人生が見えてきます。

昨年は大災害に見舞われましたが、いざという時に頼れる地域を作ることが、地域福祉の目的です。その為には、普段から地域にとけこんで顔なじみを増やし、様々な絆を強める事が、何よりも大切です。平常時の絆が、災害時に活きる事になるのです。自助、共助で、自分達の地域を守りつつ、公助として行政の防災計画に、災害ボランティアセンターがきちんと位置づけられる事を願います。

今年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

ひとり暮らし高齢者交流会～餅つき大会及びお食事会～

力強い杵さばき!!

味付けは４種類♪

コーラスグループ・ほほえみの皆さん

大正琴のなごみ会の皆さん

昼食はちらし寿司でした♪

町内在住で７５歳以上のひとり暮らしの方対象の餅つき大会及びお食事会を昨年１２月７日（水）に開催しました。

毎年好評を頂いている行事でもあり、朝早くからセンターへ足を運ばれて開会を心待ちにされている方もみえました。今回初めて参加された方も多くみえ、当日は５４名の方に参加いただきました。

餅つきは午前中の貯金体操、嚥下体操の後に始まり、民生児童委員さんとともに参加者さんが杵を持って力強く餅をつかれていました。つきたてのお餅は４種類の味付け（あんこ・きな粉・大根おろし・菜っ葉）で参加者の皆様に振舞われました。「もっと食べたいなぁ」「あんこのはもう無いんか？」など、ボランティアさん特製の味付けにとてもご満悦な様子でした。

餅つきの後、午前になごみ会さんによる大正琴の演奏、午後にコーラスグループ・ほほえみさんのコーラスを披露していただき、馴染み深い曲を一緒に口ずさまれていました。

交流会が終わり、会場を後にされる際、毎年参加されている方からは「今年も楽しかったわ！また来年も楽しみにしてるよ！」と、初めて参加された方からは「民生委員さんに毎年声をかけてもらってたけど、今回参加してみて良かった！」と、声をかけていただき、皆さん大変ご満足頂けた様子でした。来年も皆さんが楽しめる企画を用意できればと考えております。

今回交流会開催にあたり、ご協力頂きました民生児童委員の皆さん、ボランティアの皆さん、誠にありがとうございました。

おしえて！川越町社協！

前号より始まりましたこのコーナー。川越町社協２年目職員の総務福祉グループ・伊東が先輩職員の方々に川越町社協の活動や地域福祉活動について教わり、社協の魅力について皆様にもっと知っていただこうというものです。

今回は、“川越町社協”ってどんなところなの？何をしているところなの？という基本的な疑問にせまりたいとおもいます

○“社会福祉協議会（社協）”って何ですか？

社会福祉法という法律において地域福祉（地域のしあわせ、町民全体のしあわせ）の推進を図ることを目的とする団体となっています。役場さんと同じだと思われがちですが、社会福祉法人というまったくの別団体です。しかし、地域福祉（地域のしあわせ、町民全体のしあわせ）に努める団体であるので、役場さんと密接な関係があります。

○社協はどんなことをしているのですか？

町民皆様の「ふだんの　くらしの　しあわせ」を願い業務に取り組んでいます。職員は、社会福祉士やケアマネージャー、保健師、介護福祉士、ヘルパーなどの専門の資格を持った職員、また、専門性を持った職員を配置しています。川越町社協は、総務福祉グループ（川越町社協全体の運営管理、各種団体事務など）、地域包括グループ（特定高齢者・要支援者への支援、様々な相談対応など）、居宅支援グループ（要介護者への相談・支援などの介護保険に関することなど）、福祉サービスグループ（デイサービス、ヘルパーサービス、訪問入浴のサービスの提供など）、作業所グループ（障がい者の支援など）の５つのグループ（係）で日々様々な業務を行っています。

○社協にはどういったことを相談できますか？

生活上の困りごとについてなら、どんな小さなことでも相談を受けます。たとえば、高齢者の方の生活上の困りごとの相談や権利擁護（認知症などで金銭管理が出来なくなった高齢者の生活を守る仕事）の相談、介護保険に関する相談など。町民の皆様に気軽に相談をしていただけるようこころがけていますのでご連絡ください。

○川越町社協ならではの取り組みを教えてください。

県内26市町に社会福祉協議会は設置されています。各市町によりそれぞれ人口規模、地域の広さや特徴等が違うので、各市町社協で様々な活動が展開されています。川越町社協としては、各グループ（係）の事業、活動を進める上で、町の人口規模から「顔が見える社協＝face to face」をモットーに取り組んでいます。

○これからの社協に求められるものは何ですか？

老若男女問わず、地域全体、町民の皆様が笑顔で暮らしていけるような地域づくりに一役担わなければいけないと思います。

また、困りごとがあった時に、社協に相談しようと皆さんから頼られるような組織になりたいし、ならければいけないと思います。

社会福祉協議会は、住民の皆様がいつまでも笑顔で暮らしていけるように、誰にとっても身近な存在であるべきだと思いました。

町民の皆様が日常生活で困りごとができたときに、「どんなことでもご相談ください!!」と自信を持って言えるような社協職員に一日でも早くなれるように、日々努力していきたいと思います。

亀崎地区の飯田初雄さんよりみかんの寄付を頂きました。その重さなんと約２３０キロ!!頂いたみかんは町内の各施設（幼稚園、学童保育所、グループホーム）にもお届けさせていただきました。たくさんのみかん、誠にありがとうございました。

寄附

ご寄附ありがとうございました

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと川越町社会福祉協議会へご寄附がありました。

平成23年9月1日より平成23年11月30日まで

金　五、〇〇〇円　匿名　様
金五〇、〇〇〇円　朝明ライオンズクラブ　様
金　三〇、〇〇〇円　匿名　様
金　三〇、〇〇〇円　匿名　様
金一〇〇、〇〇〇円　匿名　様
金　九五、一四〇円　朝明商工会　様
車椅子　匿名　様
みかん　二三〇kg　飯田　初雄　様

善意の窓口

川越町社会福祉協議会では、皆様の善意をお待ちしております。

こんな時、小さな善意が

- 成人式を迎えられたとき、また就職が決まったときを記念して
- 結婚が決まったとき、また子どもが生まれたときを記念して
- 香典返しの一部を
- バザーなどの催しの収益金の一部を
- 一円玉を集めて

御協力をお願いします。